

入札監理小委員会説明資料

- 1 平成23年度国有林の間伐事業における民間競争入札の実施状況
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1頁

- 2 平成24年度実施要項（主な変更点）について・・・・・・・・・・・・ 2頁

- 3 平成24年度に四国森林管理局で導入できない事由について・・ 3頁

→

平成24年1月20日
林 野 庁

平成23年度国有林の間伐事業における民間競争入札の実施状況について

1 入札関係資料の交付状況等

- 入札関係資料の交付状況は、1件当たり平均5.7者であり、比較的多くの民間事業者が本事業に関心を示したところ。
特に、最大の交付数(14者)となった近畿中国森林管理局では、実施箇所以外の県の民間事業者も資料を入手しており、今後の他地域での事業展開を予見した対応もあったものと思料。

2 企画提案書の提出・応札状況

- 企画提案書を提出した者は1件当たり平均2.5者、応札者は平均2.4者で、公共サービス改革法に基づく複数年契約による初の事業で、契約額が大きいにもかかわらず、昨年度の間伐事業(単年度)の平均応札者数2.5者と同等の水準を達成。
- 民間事業者の創意工夫を引き出しやすくするよう公告等の期間を長期に設定したものの、期間が長ければ提出数が増えるといった相関は見られなかったところ。

3 入札結果

- 平均落札率は、昨年度の間伐事業の平均落札率とほぼ同等。ただし、民間競争入札による事業は、事業規模が大きく、予定価格積算段階で間接費の占める割合が抑制されるため、実質的には、より低廉な落札を達成。
- 不落箇所及び1者応札箇所は、事業規模が大きく、A及びB等級の民間事業者による入札としたが、今後、地域の民間事業者の実態も踏まえつつ競争参加資格の等級区分の取扱いについて検討も必要。

4 民間事業者からの聞き取り等

- 1者応札となった箇所で、現地見学には参加したが応札しなかった民間事業者から、「既に本年度分の間伐事業を一定確保できており、特に初年度の事業予定を組みにくい」等の意見があったところ。

平成24年度実施要項（主な変更点）について

1 対象箇所

平成24年度民間競争入札導入箇所として、6箇所を一覧表示。（実施要項P21）

なお、四国森林管理局管内については、平成24年度にかかる導入は見合わせている。

2 入札の実施手続き

平成23年度の入札実施結果等を踏まえ、公告から入札までの標準的日数（130日間程度）を80～100日間程度に見直し、より早期に発注。（実施要項P9, P22）

公告の時期等	(新)		(旧)	
1) 入札公告・入札説明書等の交付	3月～6月頃		3月～6月頃	
2) 資料閲覧、現場説明	3月～6月頃	40～50日	3月～6月頃	50日
3) 入札等に関する質疑応答	3月～6月頃		3月～6月頃	
4) 企画提案書の提出期限	4月中旬～7月中旬頃		4月下旬～7月下旬頃	
5) 競争参加資格確認等採否通知	5月中旬～8月中旬頃	40～50日	6月上旬～9月上旬頃	40日
6) 入札、落札者の決定	5月下旬～8月下旬頃		7月中旬～10月中旬頃	40日
計		80～100日		130日

3 その他の変更等

① 公共サービス改革法第7条第8項に規定する評価の時期等を明記。

（実施要項P18, 19）

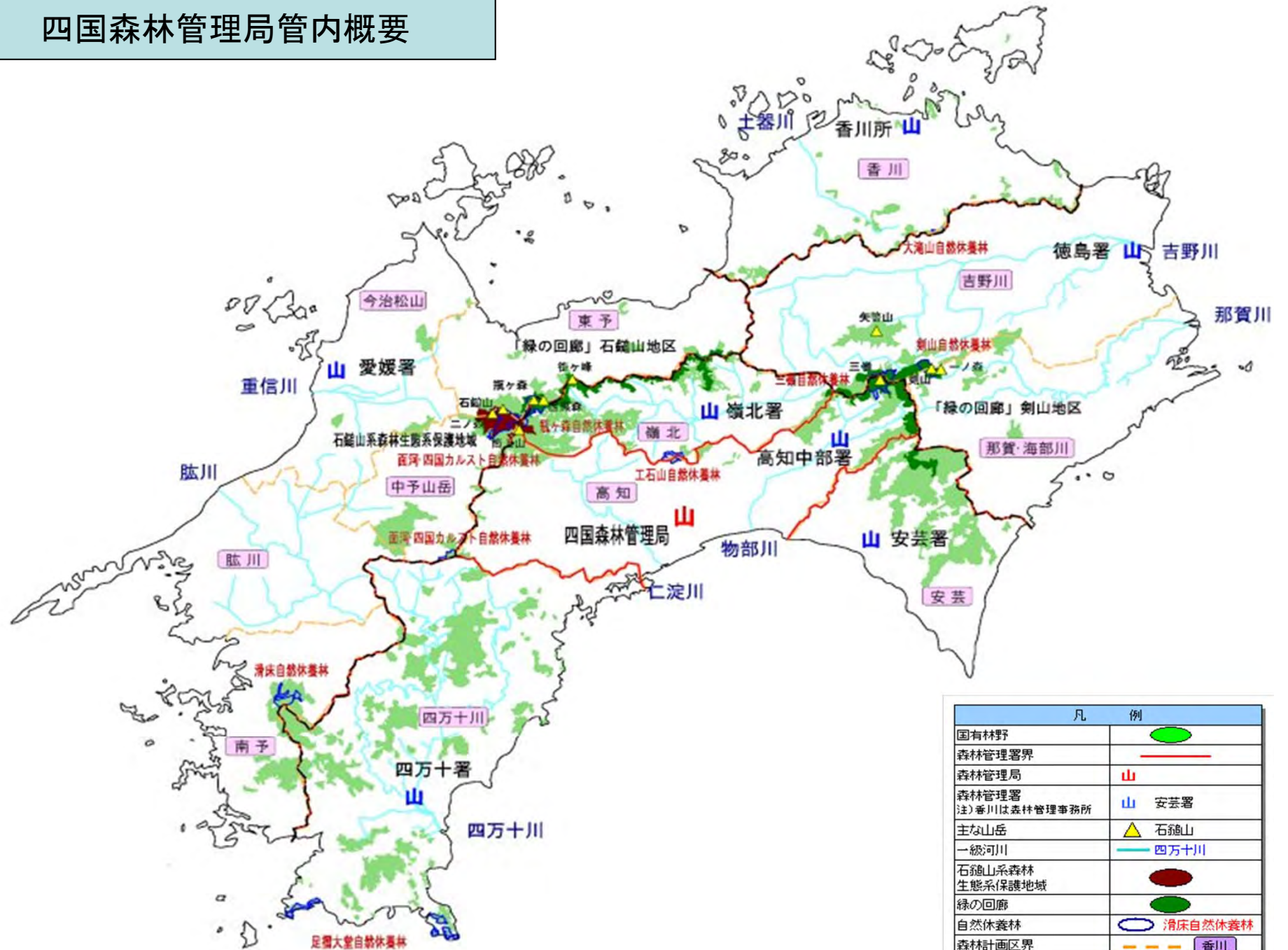
② 受注者が契約後に提出する事業計画の添付書類の一部（契約書の添付書類と重複するもの）を省略できる旨を明記。（実施要項P44）

③ 従来の実施状況に関する情報として、平成22年度国有林間伐推進コンクールの表彰事例（3件）を追加。（実施要項P26）

平成24年度に四国森林管理局で導入できない事由について

- 1 平成24年度における民間競争入札による国有林の間伐事業については、公共サービス改革基本方針に基づき、各森林管理局とも鋭意検討を続け、東日本大震災や東京電力原発事故の影響が残る中でも全国で6箇所を選定した。
- 2 しかしながら、四国森林管理局管内については、次の事由により選定を見合わせた。
 - ① 他局に比べ、国有林の面積が少なく、森林計画区も少ない(四国12、他局平均24)中、複数年契約を検討できる3年以上の計画期間を残した森林計画区は4つあったが、人工林が分散した計画区も多く、選定を検討できたのは東予森林計画区佐々連尾山国有林。
 - ② しかし、同計画区には森林施業を規制する「保護林」や、「保護林」とその間の森林をつなぎ貴重な動植物を保全する「緑の回廊」が設定されており、選定を検討できた国有林は「緑の回廊」のエリア内。エリア内には、環境省レッドリストに指定されたクマタカ(猛禽類)等の希少野生動植物が生息・生育しているとされ、仮に検討箇所周辺でクマタカの営巣等が確認された場合、事業の中止等が必要となる。
 - ③ このため、事業の企画段階から厳しい要求があり、実行段階でも緊急的な対応を余儀なくされる可能性が高いと見通されることから、民間事業者の創意工夫を引き出す企画提案とこれに沿った複数年間の継続的な事業実行に相当の困難性が予見される。
- 3 なお、次期25年度、26年度においては、管内でも人工林が多く纏まって分布する森林計画区である、四万十森林計画区、安芸森林計画区がそれぞれ選定の対象に加わる事となっている。

四国森林管理局管内概要



凡 例	
国有林野	
森林管理署界	
森林管理局	山
森林管理署 注) 香川は森林管理事務所	山 安芸署
主な山岳	▲ 石鎚山
一級河川	— 四万十川
石鎚山系森林 生態系保護地域	
緑の回廊	
自然休養林	滑床自然休養林
森林計画区界	- - - 香川
県境	- · - · -

各森林計画区の残期間等

計画の残期間	森林計画区	所在県	
3年以上	高知	高知	・森林施業を規制された天然林が半分を占めており、残る人工林の大半は既に間伐実施済で、契約に基づく森林施業を行う必要のある分収育林も多い。
	東予	愛媛	・約120haの団地(佐々連尾山国有林1045林班い\小班他2)を検討したが、稀少野生動物(クマタ力)等の生息地。
	今治松山		
	香川	香川	・人工林が少なく、分散。
			・人工林が少なく、分散。
3年未満	吉野川	徳島	・森林計画の残期間が3年未満で設定不能。
	那賀海部川		
	南予	愛媛	
	肱川		
	中予山岳		
	四万十	高知	
	安芸		
	嶺北仁淀		

入札監理小委員会説明（参考資料）

平成24年1月20日
林 野 庁

(参考資料1)

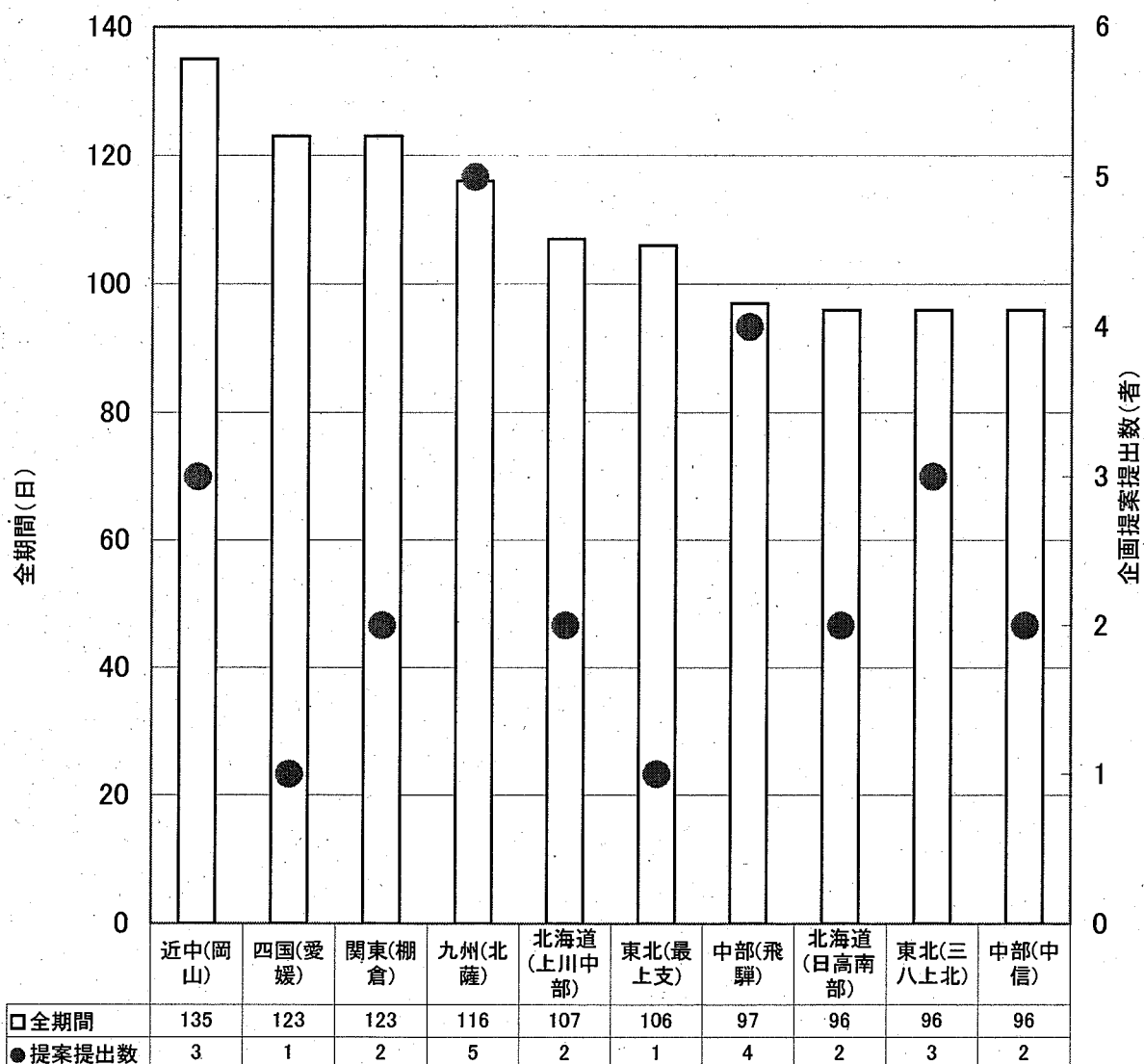
平成23年度 国有林の間伐事業における民間競争入札導入箇所の実施状況

平成24年1月10日現在

森林管理 局名	森林管理署等名	所在地	対象林小班	公告日	配布・閲覧数	現地見学		企画提案		入札		契約額 (千円)	契約期間
						実施日	参加数	提出期限	参加数	入札日	応札数		
北海道	上中北部森林管理署	北海道	愛別・旭山国有林47の林小班 ほか75	7月29日	4社	8月23日	3社	9月14日	2社	11月16日	2社	99,367	自:H23.12.27 至:H26.01.31
	日高南部森林管理署	北海道	新冠国有林1011と林小班 ほか39	7月20日	5社	8月3日	5社	9月5日	2社	10月26日	2社	84,263	自:H23.11.02 至:H25.12.26
東北	三八上北森林管理署	青森県	遠瀬深山国有林501い1林小班 ほか56	7月8日	7社	7月21日 26日	3社	8月19日	3社	10月14日	3社	-	
				10月17日	2社	10月26日	-	11月4日	2社	11月25日	2社	11月25日	2社
東北	山形森林管理署 最上支署	山形県	三ツ沢国有林2208ろ林小班 ほか6	7月21日	4社	8月4日 10日	4社	9月9日	1社	11月7日	1社	168,420	自:H23.11.16 至:H25.11.30
関東	柳倉森林管理署	福島県	小名沢・遠ヶ竜国有林266ぬ2林 小班 ほか4	5月10日	2社	6月9日	2社	7月8日	2社	9月13日	2社	124,740	自:H23.08.13 至:H25.12.20
中部	中信森林管理署	長野県	奈川第一国有林345は林小班 ほか19	4月27日	2社	5月10日	2社	6月16日	2社	8月3日	2社	95,195	自:H23.10.13 至:H25.11.30
	飛騨森林管理署	岐阜県	山中山国有林4139へ林小班 ほか11	6月13日	8社	6月29日 、30日	5社	8月2日	4社	9月20日	4社	73,789	自:H23.09.27 至:H25.11.20
近畿 中国	岡山森林管理署	岡山県	古谷国有林529い1林小班 ほか20	3月25日	14社	4月22日	14社	5月19日	3社	8月10日	2社	88,200	自:H23.08.20 至:H25.10.31
				4月28日	4社	5月19日	3社	6月20日	1社	9月1日	1社	9月1日	1社
四国	愛媛森林管理署	愛媛県	黒瀬山国有林72い林小班 ほか5	11月30日	1社	12月14日 19日	-	1月10日	1社	3月2日			
九州	北薩森林管理署	鹿児島県	間根ヶ平国有林3026い林小班 ほか13	4月27日	7社	5月17日	6社	6月10日	5社	8月23日	5社	55,440	自:H23.08.25 至:H26.01.24
計 (平均)					57社 (5.7社)		47社 (4.7社)		25社 (2.5社)		24社 (2.4社)	962,138	

注:計及び平均には再度公告によるものは含まない。

公告から入札までの期間と企画提案書の提出数



注:実施状況は初回公告による実績。

民間競争入札導入箇所と間伐事業(H22)の実施状況の比較

(参考)

局名	署等名	民間競争入札実施状況(H23)				間伐事業実施状況(H22)		
		資料 交付数	うち 県内	うち 他県	応札者数	平均落札 率	平均 応札者数	平均落札率
北海道	上川中部	4	4	—	2.0	91.3%	5.5	91.1%
北海道	日高南部	5	5	—	2.0		4.0	
東北	三八上北	7	7	—	3.0		2.8	
東北	最上(支)	4	3	1	1.0		3.5	
関東	棚倉	2	2	—	2.0		1.3	
中部	中信	2	1	1	2.0		2.0	
中部	飛騨	8	8	—	4.0		3.0	
近畿中国	岡山	14	10	4	2.0		2.4	
四国	愛媛	4	2	2	1.0		1.6	
九州	北薩	7	5	2	5.0		1.7	
計(平均)		57	47	10	(2.4)	(2.5)		

注1:民間競争入札実施状況は初回公告による実績。

注2:民間競争入札の平均落札率は四国局を除く9箇所の平均値。

注3:間伐事業(H22)の平均落札率は民間競争入札を導入した10署等の平均値。

入札参加資格等級と入札状況

(参考)

局名	署等名	予定価格 の等級	公告の 等級	入札結果 (初回公告)	間伐事業の落札者等級割合(H22)			
					A	B	C	D
東北	三八上北	A	AB	不落	13%	63%	25%	
東北	最上(支)			落札				
四国	愛媛			不落				
北海道	上川中部		ABC*	落札				
関東	棚倉			落札				
中部	中信	B	ABC	落札	100%	50%	50%	
近畿中国	岡山			落札				
九州	北薩			落札				
北海道	日高南部		ABCD*	落札				
中部	飛騨			落札				
					17%	50%	33%	

注:※は競争性を確保するため、等級区分の弾力的な取扱いを行ったもの。

(参考資料4)

1 者応札箇所における企画提案書を提出しなかった理由について

1 東北局最上支署

入札説明書等を交付した民間事業者のうち、企画提案書の提出を見送った3者からの聞き取りによる。

企画提案書の提出を見送った理由	回答者
・ 現地の地質等から作業道作設に時間を要し、初年度の間伐が十分できない。	A. B. C社
・ 現地までの林道が融雪等により損傷しやすく、大規模な崩落等があった場合、事業実行が困難。	A. C社
・ 既に間伐事業を確保しており、初年度の事業予定を組むことが困難。	A社
・ 入札時期が遅く、早い降雪、遅い融雪等を踏まえると、初年度の事業予定を組みにくかった。	B社

2 四国局愛媛署

入札説明書等を交付した民間事業者のうち、企画提案書の提出を見送った2者からの聞き取りによる。

企画提案書の提出を見送った理由	回答者
・ 既に間伐事業を確保しており、初年度の事業予定を組むことが困難。	D社
・ 現地の地質等から作業道作設に時間を要し、初年度の間伐が十分できない。	F社
・ 県外業者であり作業員の宿泊所を準備する必要からコスト高。	